

PRIDE 誇れる自分 誇れる仲間 笑顔あふれる学校

ウクライナへの侵略戦争から「批判力」について考える

今、ウクライナではロシアによる侵略が続いていることは、皆さんもご存じでしょう。この侵略では、多くの一般人が殺害されています。しかし、ロシア国内では、国民の8割を超える人たちが、この侵略戦争(ロシアでは「特別軍事作戦」と呼んでいます)を支持していると言われていています。このことについて皆さんはどのように感じますでしょうか。「なんで他国を侵略することを支持するんだ」「ロシアの人は国のためなら人の命などどうでもいいのか」などと感じている人もいるでしょう。しかし、ロシア国内では、情報が徹底的に管理され、ロシアに都合の悪いニュースは流れません。むしろロシアに都合のいいように捏造されて流されていると言ってもよいでしょう。そのような中で、人々に真実を知るすべはありません。ロシア軍は、ウクライナの人々を助けるために戦っていると思込んでいるのでしょう。情報操作によってこうもたやすく操られてしまう人間とは、本当に愚かであると感じずにはられません。



北中の皆さんは、テレビのニュースやSNSへの書き込みなどを「真実」と思込んでいることはありませんか？ テレビは、民衆の興味があるだろうことを取り上げ、興味のあるうちはどんどんあおっていきますが、興味がなくなると、途端に取り上げなくなります。熊本地震の時は「ライオンが逃げた」というデマのSNSを信じた人が1時間で2万件も拡散したそうです。ロシアだけでなく、身近にも隠蔽されたり捏造されたりする情報があふれているということです。



そこで、皆さんにお願いしたいことは、情報を丸呑みするのではなく、一度立ち止まって考える「批判力」を高めてほしいということです。ESD(持続可能な開発のための教育…課題解決につながる新たな価値観や行動を生み出し、持続可能な社会の創造を目指す学習や活動)の中の「身に付けたい力」の一つにも「批判的に考える力」があげられています。また、批判力を高めるためには、一人一人が「自律」し、「自分で考え、正しく判断し、行動する」力を身に付けることが重要です。他人任せにしている、幸福をつかみ取ることなどできません。北中の皆さんには、ぜひ、自分自身で一步を踏み出せる、そんな中学生になってほしいと願っています。

